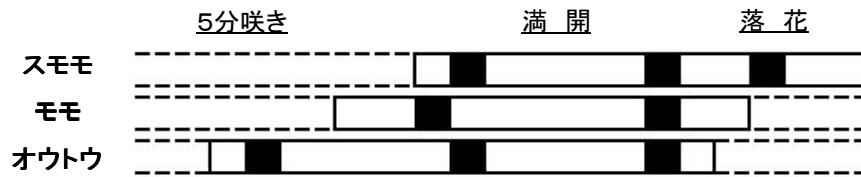


人工受粉（スモモ・モモ・オウトウ）

1. 受粉時期



2. 受粉時の天候

- ・ 15℃以上（午前9時～午後3時）で、風がない日に行う。
（自然開花の花粉が良く出る日）
- ・ 開花期に天候不順や低温のあった年では、丁寧に人工受粉を行う。

3. 高温時の花粉

日なたと日陰による花粉生存率の割合（4月上中旬の気温の場合）

		開始 AM 10:00	4時間後 PM 2:00	7時間後 PM 5:00
モモ花粉	日なた	78%	28%	11%
	日陰	78%	64%	60%
		開始 AM 10:00	4時間後 PM 2:00	7時間後 PM 5:00
オウトウ花粉	日なた	47%	15%	5%
	日陰	47%	39%	32%

※午後1時の気温（気温：23.5℃ 日向：35.0℃ 日陰：23.6℃）

4. 受粉作業時の花粉

- ・ 花粉は高温に非常に弱いので、受粉作業時の花粉は、直射日光に当たらないよう段ボール箱等で日陰を作って使用する。

5. スモモの交配親和性

花粉	大石早生	ソルタマ	リマーヒュート	リマーエンジェル	太陽	アリウッド	ホワイト
大石早生		○	○	○	○	○	○
ソルタマ	○		○	○	○	○	○
リマーヒュート						○	
リマーエンジェル						○	
貴陽						○	
太陽						○	○

6. モモで受粉が必要な品種

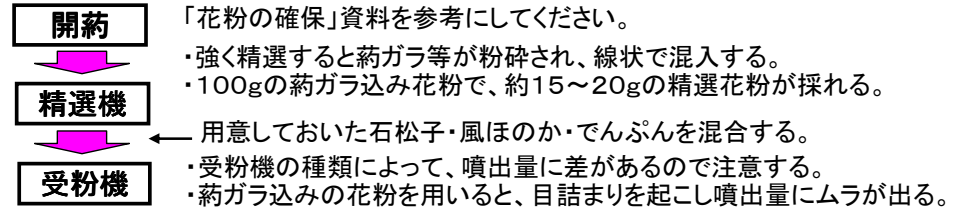
- ・ 夢しずく、浅間白桃、西野白桃、一宮白桃、一宮水密、川中島白桃、白桃
- ・ これ以外の品種についても、開花期が天候不順な場合は、結実安定のために1回は受粉を行う。

7. オウトウの交配親和性の良い組み合わせ

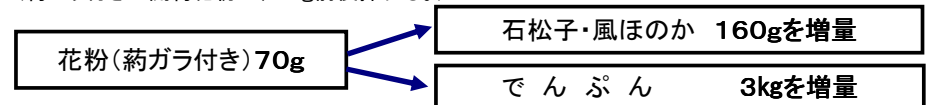
品種	花粉	香夏錦	高砂	富士あかね	佐藤錦	紅秀峰	ナポレオン
香夏錦		×	○		○		○
高砂		○	×		○	○	○
富士あかね		○	○	×	○	○	○
佐藤錦		○	○		×	○	○
紅秀峰		×	○		○	×	○

8. 受粉機を使用した受粉

- ・ 作業工程（ハツタ製）



- (1) 成園10aあたり使用量は、3kgの花蕾（10kg詰めミカン箱満杯）が最低必要である。（薬ガラ付きの開薬花粉で、70g前後採れる。）



- (2) いずれの増量剤の事例では、花粉と増量剤の比率に幅があるが、花粉の量が多いほど結実が良好になる（でんぷんの事例では、花粉(薬ガラ付)とでんぷんの比率が12～43倍と非常に幅があった）。
 - (3) 石松子・風ほのかの量を増やせば、散布時間が長くなり丁寧な受粉ができる。
 - (4) 機械での受粉作業に慣れない場合は、噴出量を少なくして散布時間を長くすると良い。
 - (5) 散布時間は、20～30分/10a（10年生樹で90～120秒）を目安とする。
- ★開花期が天候不順の場合は、毛ばたきでの人工授粉により結実安定を図る。

- ・ 1kgの生花から100gの生薬（薬ガラ込み）が採れる。開薬すると乾燥して、1/5程度になる。
- ・ 開薬した花粉（薬ガラ込み）100gから、精選機によって精製花粉を15～20g採れる。
- ・ 生花3kgから、薬ガラ込み花粉を60～70g採ることができ、80g入れの石松子・風ほのかの容器で0.5本弱になる。